

CC-Link IE フィールドネットワーク リモート I/O ユニット用 FB ライブラリ リファレンスマニュアル

対象ユニット:

NZ2GFCM1-16D, NZ2GFCM1-16DE, NZ2GFCM1-16T, NZ2GFCM1-16TE

《目次》

リファレンスマニュアル改訂履歴	2
1. 概要	3
1. 1. FBライブラリ概要	3
1. 2. FBライブラリ機能内容	3
1. 3. システム構成例	4
1. 4. CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定	5
1. 5. グローバルラベルの設定	9
1. 6. インタロックプログラムの作成	10
1. 6. 1 サイクリック伝送のプログラム	10
1. 7. 関連マニュアル	11
1. 8. お願い	11
2. FBライブラリ詳細	12
2. 1. M+NZ2GFCM116_InitialProcessing(イニシャル処理)	12
2. 2. M+NZ2GFCM116_SetOpeCondition(動作条件設定)	17
2. 3. M+NZ2GFCM116_ErrorOperation(エラー操作)	22
付録 1. 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットでFBを使用する場合	28
付録 1. 1. ネットワークパラメータの入力	29
付録 1. 2. グローバルラベルの入力	33
付録 1. 3. 2 枚目用FBを作成するためのMELSOFT Libraryのコピー	34
付録 1. 4. 2 枚目用FBを作成するためのデバイス置換	36
付録 2. FBライブラリ使用例	38

リファレンスマニュアル改訂履歴

リファレンスマニュアル 番号	改訂日	改訂内容
FBM-M120-A	2013/10/25	新規作成

1. 概要

1. 1. FBライブラリ概要

本 FB ライブラリは, CC-Link IE フィールドネットワーク リモート I/O ユニットの NZ2GFCM1-16D, NZ2GFCM1-16DE, NZ2GFCM1-16T, NZ2GFCM1-16TE を使用するための FB ライブラリです。

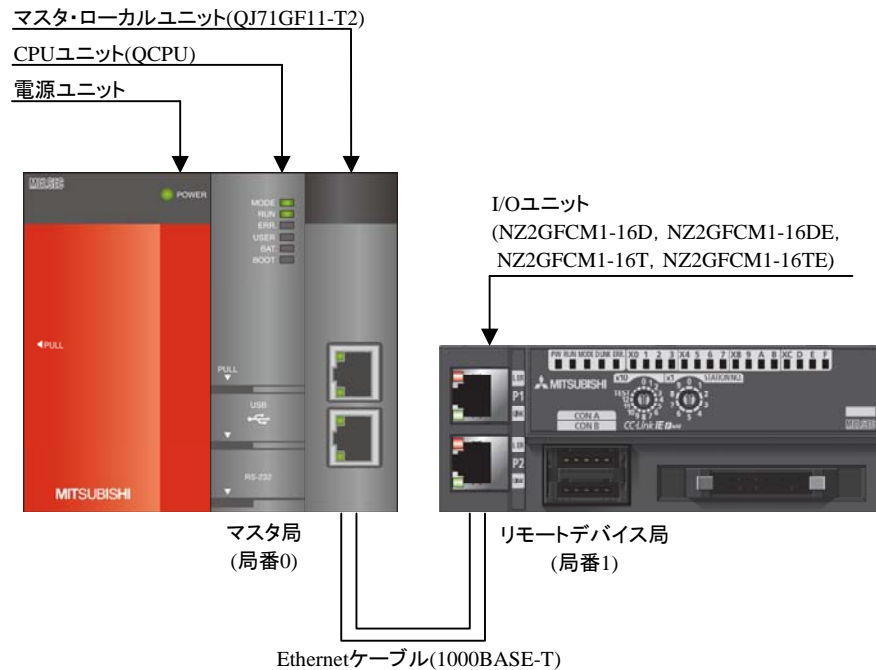
1. 2. FBライブラリ機能内容

項目	内容
M+NZ2GFCM116_InitialProcessing	電源投入後のイニシャル処理を実行します。
M+NZ2GFCM116_SetOpeCondition	動作条件設定を行います。
M+NZ2GFCM116_ErrorOperation	エラー状態, ワーニング状態のモニタ, および, エラークリアを実行します。

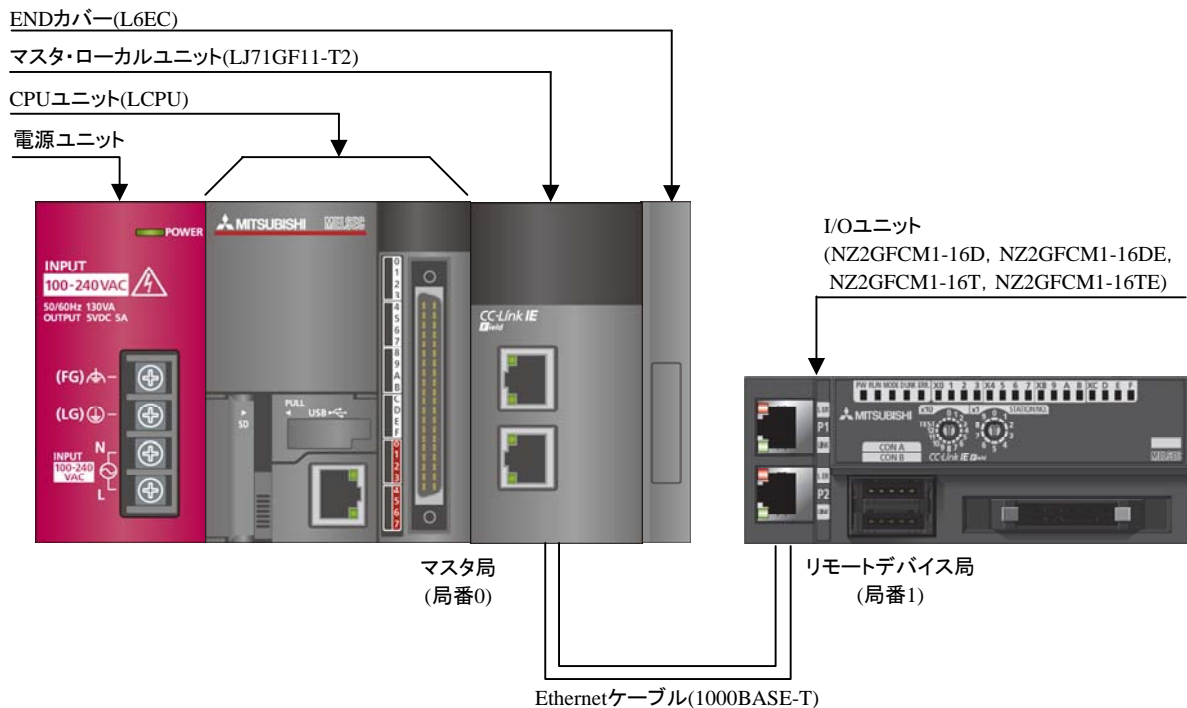
1. 3. システム構成例

下記のシステム構成はリモートデバイス局に入出力ユニット(NZ2GFCM1-16D, NZ2GFCM1-16DE, NZ2GFCM1-16T, NZ2GFCM1-16TE)を使用した場合となっています。

(1)Q シリーズのシステム構成



(2)L シリーズのシステム構成



1. 4. CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定

項「1. 3. システム構成例」に基づくCC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定を説明します。GX Works2 を用いて、以下の項目を設定します。

(1) ネットワークパラメータ

項目	内容
ネットワーク種別	「CC IE Field(マスタ局)」を選択します。
先頭 I/O No.	マスタ・ローカルユニットの先頭入出力番号を、16 点単位で設定します。 「0000」を設定します。
ネットワーク No.	マスタ・ローカルユニットのネットワーク No.を設定します。 「1」を設定します。

※ チェックマークを入れてください。



☒ ネットワーク構成設定を CC IE Field 構成ウィンドウで設定する

	ユニット1	ユニット2
ネットワーク種別	CC IE Field(マスタ局)	なし
先頭I/O No.	0000	
ネットワークNo.	1	
総(子)局数	0	
グループNo.		
局番	0	
モード	オンライン(標準モード)	
	CC IE Field構成設定	
	ネットワーク動作設定	
	リフレッシュパラメータ	
	割込み設定	
	局番をパラメータで設定	

(2)CC IE Field 構成設定

項目	内容
局番	マスタ局に接続するリモートデバイス局の局番を設定します。 「1」を設定します。
局種別	マスタ局に接続するリモートデバイス局の局種別を設定します。 「リモートデバイス局」を設定します。
RX/RV 設定	マスタ局に接続するリモートデバイス局の RX/RV の割付を設定します。 (a)先頭 「0000」を設定します。 (b)最終 「000F」を設定します。
RWw/RWr 設定	マスタ局に接続するリモートデバイス局の RWw/RWr の割付を設定します。 (a)先頭 「0000」を設定します。 (b)最終 「0007」を設定します。

【NZ2GFCM1-16D の場合】

	台数	形名	局番	局種別	RX/RV設定			RWw/RWr設定		
					点数	先頭	最終	点数	先頭	最終
	0	自局	0	マスタ局						
	1	NZ2GFCM1-16D	1	リモートデバイス局	16	0000	000F	8	0000	0007

※ 環境に合わせて、使用するユニットを設定してください。

(3)リフレッシュパラメータ設定

項目	内容	設定値
SB 転送	SB デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 点数」 : 512 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : SB ・「CPU 側 先頭」 : 0000
SW 転送	SW デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 点数」 : 512 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : SW ・「CPU 側 先頭」 : 0000
転送 1	RX デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 デバイス名」 : RX ・「リンク側 点数」 : 16 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : M ・「CPU 側 先頭」 : 1024
転送 2	RY デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 デバイス名」 : RY ・「リンク側 点数」 : 16 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : M ・「CPU 側 先頭」 : 2048
転送 3	RW _r デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 デバイス名」 : RW _r ・「リンク側 点数」 : 8 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : W ・「CPU 側 先頭」 : 1000
転送 4	RW _w デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 デバイス名」 : RW _w ・「リンク側 点数」 : 8 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : W ・「CPU 側 先頭」 : 1100

※ リンク側の先頭は、必ず 0000 を設定してください。

※ リンク側の点数、CPU 側のデバイス名、先頭は、ご使用になるシステムに応じて変更してください。

ただし、「グローバルラベル設定」の「M_F_RW_r」、「M_F_RW_w」の各デバイスと同一である必要があります。

割付方法

- ☒ 点数／先頭
☐ 先頭／最終

※ リンク側の先頭アドレスは「0000」を設定してください。

	リンク側					CPU側			
	デバイス名	点数	先頭	最終		デバイス名	点数	先頭	最終
SB転送	SB	512	0000	01FF	⇔	SB	512	0000	01FF
SW転送	SW	512	0000	01FF	⇔	SW	512	0000	01FF
転送1	RX	16	0000	000F	⇔	M	16	1024	1039
転送2	RY	16	0000	000F	⇔	M	16	2048	2063
転送3	RWr	8	0000	0007	⇔	W	8	001000	001007
転送4	RWw	8	0000	0007	⇔	W	8	001100	001107
転送5					⇔				
転送6					⇔				
転送7					⇔				
転送8					⇔				

デフォルト

チェック

設定終了

キャンセル

1. 5. グローバルラベルの設定

本 FB を使用する際は、以下のグローバルラベルの設定が必要です。グローバルラベルの設定を説明します。

(1)M_F_RWr リモートレジスタ(RWr)の設定を行います。

項目	内容
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
ラベル名	「M_F_RWr」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭に「Z7」を付加して入力します。

(2)M_F_RWw リモートレジスタ(RWw)の設定を行います。

項目	内容
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
ラベル名	「M_F_RWw」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭に「Z6」を付加して入力します。

	クラス	ラベル名	データ型	定数値	デバイス	コメント
1	VAR_GLOBAL	M_F_RWr	ワード[符号付き]	...	W1 000Z7	RWrリフレッシュデバイス
2	VAR_GLOBAL	M_F_RWw	ワード[符号付き]	...	W1 100Z6	RWwリフレッシュデバイス
3				...		
4				...		
5				...		
6				...		

1. 6. インタロックプログラムの作成

本 FB を使用する際は、インタロックプログラムの作成が必要です。以下にインタロックプログラムの例を示します。
インタロックプログラムはサイクリック伝送に設定します。

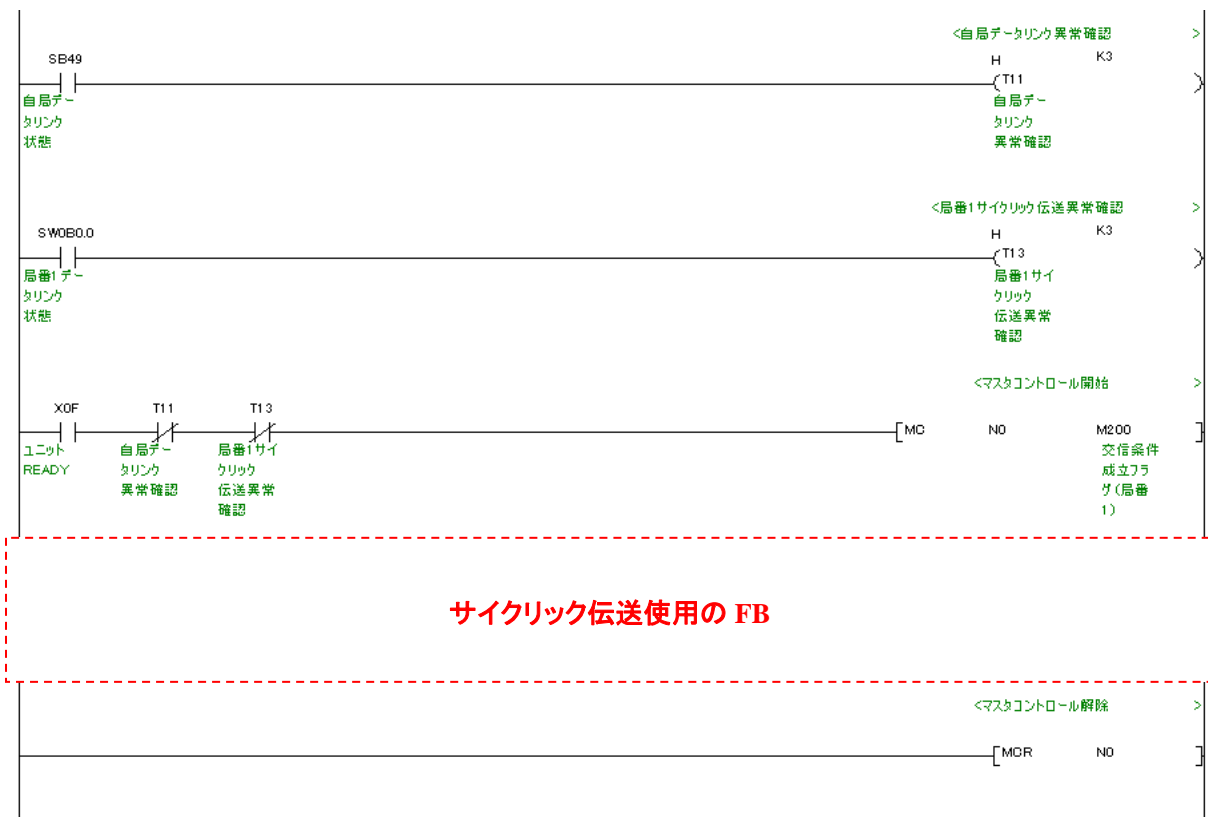
(MC 命令と MCR 命令の間に該当する FB を設定してください。)

1. 6. 1 サイクリック伝送のプログラム

サイクリック伝送のプログラムでは、下記のリンク特殊リレー(SB)およびリンク特殊レジスタ(SW)でインタロックをとってください。

- ・自局のデータリンク状態(SB0049)
- ・各局のデータリンク状態(SW00B0～SW00B7)

例 インタロック例(局番 1)



※1 本書に掲載されている全ての FB はサイクリック伝送を使用しています。

1. 7. 関連マニュアル

CC-Link IE フィールドネットワーク リモート I/O ユニットユーザーズマニュアル

MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル

MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル

QCPU ユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)

MELSEC-L CPU ユニットユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)

GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(共通編)

GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト・ファンクションブロック編)

1. 8. お願い

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. FBライブラリ詳細

2. 1. M+NZ2GFCM116_InitialProcessing(イニシャル処理)

名称

M+NZ2GFCM116_InitialProcessing

機能内容

項目	内容							
機能概要	電源投入後のイニシャル処理を行います。							
シンボル	<div><div><div>実行命令</div><div>ユニット装着XYアドレス</div><div>局番</div></div><div><div>M+NZ2GFCM116_InitialProcessing</div><div><div>B : FB_EN</div><div>W : i_Start_IO_No</div><div>W : i_Station_No</div></div><div><div>FB_ENO : B</div><div>FB_OK : B</div><div>FB_ERROR : B</div><div>ERROR_ID : W</div></div></div><div><div>実行状態</div><div>正常終了</div><div>エラー終了</div><div>エラーコード</div></div></div>							
対象機器	CC-Link IE フィールドネットワーク リモートI/O ユニット	NZ2GFCM1-16D, NZ2GFCM1-16DE, NZ2GFCM1-16T, NZ2GFCM1-16TE						
	CC-Link IE フィールドネットワークユニット	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニット ※1 ※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降						
	CPU ユニット	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ ※1</td><td>ユニバーサルモデル ※2</td></tr><tr><td>MELSEC-L シリーズ</td><td>LCPU ※3</td></tr></table> <p>※1 QCPU(A モード)使用不可 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“12012”以降 ※3 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ ※1	ユニバーサルモデル ※2	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※3
	シリーズ	モデル						
MELSEC-Q シリーズ ※1	ユニバーサルモデル ※2							
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※3							
エンジニアリングツール	GX Works2 ※1 <table><tr><th>言語</th><th>対応しているソフトウェアバージョン</th></tr><tr><td>日本語版</td><td>Version1.11M 以降</td></tr></table> <p>※1 使用するユニットに対応するソフトウェアバージョンについては、関連マニュアルを参照してください。</p>	言語	対応しているソフトウェアバージョン	日本語版	Version1.11M 以降			
言語	対応しているソフトウェアバージョン							
日本語版	Version1.11M 以降							
記述言語	ラダー							
ステップ数	439 Step (MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。							

項目	内容
機能説明	<p>1) FB_EN(実行命令)の ON で、電源投入後のイニシャル処理を実行します。</p> <p>2) 本 FB は FB_EN(実行命令)の ON で、1 ショットのみ動作します。</p> <p>3) 本 FB は FB_EN(実行命令)の ON 後、数スキャンで完了します。</p> <p>4) i_Station_No(局番)で指定される局番のネットワーク構成設定が正しく設定されていない場合は、FB_ERROR(エラー終了)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID(エラーコード)にはエラーコード 50(10 進数)が格納されます。 エラーコードについては、エラーコード解説部分を参照してください。</p> <p>5) i_Station_No(局番)の設定値が範囲外の場合は、FB_ERROR(エラー終了)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID(エラーコード)にはエラーコード 60(10 進)が格納されます。 エラーコードについては、エラーコード解説部分を参照してください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項、注意事項等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理は含んでいません。エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>2) 割込みプログラム内で FB を使用することは出来ません。</p> <p>3) 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>4) 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>5) FB 内部におきましてインデックス修飾を用いて RY を操作している関係上、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>6) 本 FB では、全ての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) 本 FB は、サイクリック伝送を使用しているため、サイクリック伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムに関しては、項「1. 6. 1 サイクリック伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>8) ネットワークパラメータ設定のリフレッシュパラメータの設定を項「1. 4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」にしたがって行ってください。</p> <p>9) グローバルラベルの設定を、項「1. 5. グローバルラベルの設定」の内容にしたがって行って下さい。</p> <p>10) CC-Link IE フィールドシステム用 FB は 1 つのマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1. 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する場合」をご参照ください。</p> <p>11) 本 FB の処理が完了しない場合、CC-Link IE フィールドの局番がネットワークの局番と一致しているかご確認ください。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
使用例	項「付録 2. FB ライブラリ使用例」をご覧ください。

項目	内容
入出力信号の動き	<div> <div> 【正常終了の場合】 <p>m : 局番設定により、マスタユニットに割り付けられたアドレス</p> </div> <div> 【異常終了の場合】 <p>m : 局番設定により、マスタユニットに割り付けられたアドレス</p> </div> </div>
関連マニュアル	<p>CC-Link IE フィールドネットワーク リモート I/O ユニットユーザーズマニュアル</p> <p>MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル</p> <p>MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル</p> <p>QCPU ユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)</p> <p>MELSEC-L CPU ユニットユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)</p> <p>GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(共通編)</p> <p>GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト・ファンクションブロック編)</p>

エラーコード

●エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
50(10 進数)	i_Station_No で指定している局番のネットワーク構成設定が正しくありません。	以下の設定内容を見直してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1. 4. CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」(2)を参照してください。 ・i_Station_No に入力している局番の値
60(10 進数)	局番設定範囲外。局番が 1～120 以外に設定されています。	設定を見直した後、再度 FB を実行してください。

使用ラベル

●入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。詳細範囲は、対象 CPU のユーザズマニュアルを参照してください。	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスを 16 進数で指定します。(例えば X10 の場合、H10 を入力してください)
局番	i_Station_No	ワード	1～120	対象局の局番を指定します。

●出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常終了	FB_OK	ビット	OFF	ON の場合、イニシャル処理が完了したことを示します。
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON の場合、FB 内でエラーが発生したことを示します。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生した異常コードを返します。

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2013/10/25	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 2. M+NZ2GFCM116_SetOpeCondition(動作条件設定)

名称

M+NZ2GFCM116_SetOpeCondition

機能内容

項目	内容							
機能概要	動作条件設定を行います。							
シンボル	<div><div><div>M+NZ2GFCM116_SetOpeCondition</div><div><div>実行命令</div><div>B : FB_EN</div></div><div><div>ユニット装着XYアドレス</div><div>W : i_Start_IO_No</div></div><div><div>局番</div><div>W : i_Station_No</div></div></div><div><div>FB_ENO : B</div><div>FB_OK : B</div><div>FB_ERROR : B</div><div>ERROR_ID : W</div></div><div><div>実行状態</div><div>正常終了</div><div>エラー終了</div><div>エラーコード</div></div></div>							
対象機器	CC-Link IE フィールドネットワーク リモートI/O ユニット	NZ2GFCM1-16D, NZ2GFCM1-16DE, NZ2GFCM1-16T, NZ2GFCM1-16TE						
	CC-Link IE フィールドネットワークユニット	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニット ※1 ※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降						
	CPU ユニット	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ ※1</td><td>ユニバーサルモデル ※2</td></tr><tr><td>MELSEC-L シリーズ</td><td>LCPU ※3</td></tr></table> <p>※1 QCPU(A モード)使用不可 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“12012”以降 ※3 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ ※1	ユニバーサルモデル ※2	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※3
	シリーズ	モデル						
MELSEC-Q シリーズ ※1	ユニバーサルモデル ※2							
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※3							
エンジニアリングツール	GX Works2 ※1 <table><tr><th>言語</th><th>対応しているソフトウェアバージョン</th></tr><tr><td>日本語版</td><td>Version1.11M 以降</td></tr></table> <p>※1 使用するユニットに対応するソフトウェアバージョンについては、関連マニュアルを参照してください。</p>	言語	対応しているソフトウェアバージョン	日本語版	Version1.11M 以降			
言語	対応しているソフトウェアバージョン							
日本語版	Version1.11M 以降							
記述言語	ラダー							
ステップ数	450 Step (MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。							

項目	内容
機能説明	<p>1) FB_EN(実行命令)の ON で、対象ユニットの動作条件を設定します。</p> <p>2) 本 FB は FB_EN(実行命令)の ON で、1 ショットのみ動作します。</p> <p>3) 本 FB は FB_EN(実行命令)の ON 後、数スキャンで完了します。</p> <p>4) i_Station_No(局番)で指定される局番のネットワーク構成設定が正しく設定されていない場合は、FB_ERROR(エラー終了)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID(エラーコード)にはエラーコード 50(10 進数)が格納されます。 エラーコードについては、エラーコード解説部分を参照してください。</p> <p>5) i_Station_No(局番)の設定値が範囲外の場合は、FB_ERROR(エラー終了)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID(エラーコード)にはエラーコード 60(10 進)が格納されます。 エラーコードについては、エラーコード解説部分を参照してください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項、注意事項等	<p>1) 本 FB は、エラー復旧処理は含んでいません。エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>2) 割込みプログラム内で FB を使用することは出来ません。</p> <p>3) 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>4) 本 FB ではインデックスレジスタ Z6～Z9 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>5) FB 内部におきましてインデックス修飾を用いて RY を操作している関係上、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>6) 本 FB では、全ての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。</p> <p>7) 本 FB は、サイクリック伝送を使用しているため、サイクリック伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムに関しては、項「1. 6. 1 サイクリック伝送のプログラム」を参照してください。</p> <p>8) ネットワークパラメータ設定のリフレッシュパラメータの設定を項「1. 4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」にしたがって行ってください。</p> <p>9) グローバルラベルの設定を、項「1. 5. グローバルラベルの設定」の内容にしたがって行って下さい。</p> <p>10) CC-Link IE フィールドシステム用 FB は 1 つのマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1. 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する場合」をご参照ください。</p> <p>11) 本 FB の処理が完了しない場合、CC-Link IE フィールドの局番がネットワークの局番と一致しているかご確認ください。</p>
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
使用例	項「付録 2. FB ライブラリ使用例」をご覧ください。

項目	内容
入出力信号の動き	<div> <div> 【正常終了の場合】 <p>m : 局番設定により、マスタユニットに割り付けられたアドレス</p> </div> <div> 【異常終了の場合】 <p>m : 局番設定により、マスタユニットに割り付けられたアドレス</p> </div> </div>
関連マニュアル	<p>CC-Link IE フィールドネットワーク リモート I/O ユニットユーザーズマニュアル</p> <p>MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル</p> <p>MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル</p> <p>QCPU ユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)</p> <p>MELSEC-L CPU ユニットユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)</p> <p>GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(共通編)</p> <p>GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト・ファンクションブロック編)</p>

エラーコード

●エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
50(10 進数)	i_Station_No で指定している局番のネットワーク構成設定が正しくありません。	以下の設定内容を見直してください。 ・ネットワーク構成設定 項「1. 4. CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」(2)を参照してください。 ・i_Station_No に入力している局番の値
60(10 進数)	局番設定範囲外。局番が 1～120 以外に設定されています。	設定を見直した後、再度 FB を実行してください。

使用ラベル

●入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。詳細範囲は、対象 CPU のユーザズマニュアルを参照してください。	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスを 16 進数で指定します。(例えば X10 の場合、H10 を入力してください)
局番	i_Station_No	ワード	1～120	対象局の局番を指定します。

●出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常終了	FB_OK	ビット	OFF	ON の場合、動作条件設定が完了したことを示します。
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON の場合、FB 内でエラーが発生したことを示します。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生した異常コードを返します。

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2013/10/25	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 3. M+NZ2GFCM116_ErrorOperation(エラー操作)

名称

M+NZ2GFCM116_ErrorOperation

機能内容

項目	内容							
機能概要	エラー状態，ワーニング状態のモニタ，および，エラークリアを実行します。							
シンボル	<div><div><div>M+NZ2GFCM116_ErrorOperation</div><div><div>実行命令</div><div>B : FB_EN</div></div><div><div>ユニット装着XYアドレス</div><div>W : i_Start_IO_No</div></div><div><div>局番</div><div>W : i_Station_No</div></div><div><div>エラークリア要求</div><div>B : i_ErrorReset</div></div><div><div>FB_ENO : B</div><div>実行状態</div></div><div><div>FB_OK : B</div><div>正常終了</div></div><div><div>o_UNIT_ERROR : B</div><div>ユニットエラー検出</div></div><div><div>o_UNIT_ERR_CODE : W</div><div>ユニットエラーコード</div></div><div><div>o_UNIT_WARNING : B</div><div>ユニットワーニング検出</div></div><div><div>o_UNIT_WAR_CODE : W</div><div>ユニットワーニングコード</div></div><div><div>FB_ERROR : B</div><div>エラー終了</div></div><div><div>ERROR_ID : W</div><div>エラーコード</div></div></div></div>							
対象機器	CC-Link IE フィールドネットワーク リモートI/O ユニット	NZ2GFCM1-16D, NZ2GFCM1-16DE, NZ2GFCM1-16T, NZ2GFCM1-16TE						
	CC-Link IE フィールドネットワークユニット	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニット ※1 ※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降						
	CPU ユニット	<table><tr><th>シリーズ</th><th>モデル</th></tr><tr><td>MELSEC-Q シリーズ ※1</td><td>ユニバーサルモデル ※2</td></tr><tr><td>MELSEC-L シリーズ</td><td>LCPU ※3</td></tr></table> <p>※1 QCPU(A モード)使用不可 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“12012”以降 ※3 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ ※1	ユニバーサルモデル ※2	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※3
	シリーズ	モデル						
MELSEC-Q シリーズ ※1	ユニバーサルモデル ※2							
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※3							
エンジニアリングツール	GX Works2 ※1	<table><tr><th>言語</th><th>対応しているソフトウェアバージョン</th></tr><tr><td>日本語版</td><td>Version1.11M 以降</td></tr></table> <p>※1 使用するユニットに対応するソフトウェアバージョンについては， 関連マニュアルを参照してください。</p>	言語	対応しているソフトウェアバージョン	日本語版	Version1.11M 以降		
言語	対応しているソフトウェアバージョン							
日本語版	Version1.11M 以降							
記述言語	ラダー							

項目	内容
ステップ数	<p>562 Step (MELSEC-Q シリーズ・ユニバーサルモデルの場合)</p> <p>※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。</p>
機能説明	<ol style="list-style-type: none"> 1) FB_EN(実行命令)の ON にて、対象ユニットのエラー状態、ワーニング状態を監視します。 2) エラー発生時は、o_UNIT_ERROR(ユニットエラー検出)を ON し、o_UNIT_ERR_CODE(ユニットエラーコード)にエラーコードを格納します。 3) ワーニング発生時は、o_UNIT_WARNING(ユニットワーニング検出)を ON し、o_UNIT_WAR_CODE(ユニットワーニングコード)にワーニングコードを格納します。 4) アラーム発生時は、o_UNIT_WAR_CODE(ユニットワーニングコード)にアラームコードを格納します。 5) FB_EN(実行命令)を ON 後、エラー発生中に i_ErrorReset(エラークリア要求)を ON することで、エラークリアを行います。ワーニングはユニットの軽度エラーの異常原因を解消してから 5 秒後に自動的にワーニングがクリアされます。 6) i_Station_No(局番)で指定される局番のネットワーク構成設定が正しく設定されていない場合は、FB_ERROR(エラー終了)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID(エラーコード)にはエラーコード 50(10 進数)が格納されます。 エラーコードについては、エラーコード解説部分を参照してください。 7) i_Station_No(局番)の設定値が範囲外の場合は、FB_ERROR(エラー終了)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID(エラーコード)にはエラーコード 60(10 進)が格納されます。 エラーコードについては、エラーコード解説部分を参照してください。
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項, 注意事項等	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本 FB は, エラー復旧処理は含んでいません。エラー復旧処理については, お客様のシステムや要求動作に合わせて, 別途作成してください。 2) 割込みプログラム内で FB を使用することは出来ません。 3) 1 回しか実行されないプログラム (例えば, サブルーチンプログラムや FOR~NEXT) で FB を使用すると, FB_EN (実行命令) の OFF 処理を実行することができず正常な動作が出来なくなるため, FB_EN (実行命令) の OFF を実行できるプログラムで使用してください。 4) 本 FB ではインデックスレジスタ Z6~Z9 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は, 割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。 5) FB 内部におきましてインデックス修飾を用いて RY を操作している関係上, コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが, 使用上特に問題はありません。 6) 本 FB では, 全ての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。 7) 本 FB は, サイクリック伝送を使用しているため, サイクリック伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムに関しては, 項「1. 6. 1 サイクリック伝送のプログラム」を参照してください。 8) ネットワークパラメータ設定のリフレッシュパラメータの設定を項「1. 4. CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」にしたがって行ってください。 9) グローバルラベルの設定を, 項「1. 5. グローバルラベルの設定」の内容にしたがって行って下さい。 10) CC-Link IE フィールドシステム用 FB は 1 つのマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1. 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する場合」をご参照ください。 11) 本 FB の処理が完了しない場合, CC-Link IE フィールドの局番がネットワークの局番と一致しているかご確認ください。また, エラー, ワーニング, アラームの異常原因が解消されていることをご確認ください。
FB 動作	随時実行型
使用例	項「付録 2. FB ライブラリ使用例」をご覧ください。

項目	内容
入出力信号の動き	<div> <div> 【正常終了の場合】 <p>※ 発生した軽度エラーの要因が取り除かれ、5 秒経過すると自動的にユニットワーニング検出およびユニットワーニングコードがクリアされます。</p> </div> <div> 【異常終了の場合】 </div> </div>
関連マニュアル	<p>CC-Link IE フィールドネットワーク リモート I/O ユニットユーザーズマニュアル</p> <p>MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル</p> <p>MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル</p> <p>QCPU ユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)</p> <p>MELSEC-L CPU ユニットユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)</p> <p>GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(共通編)</p> <p>GX Works2 Version1 オペレーティングマニュアル(シンプルプロジェクト・ファンクションブロック編)</p>

エラーコード

●エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
50(10 進数)	i_Station_No で指定している局番のネットワーク構成設定が正しくありません。	<p>以下の設定内容を見直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク構成設定 項「1. 4. CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットの設定」(2)を参照してください。 ・i_Station_No に入力している局番の値
60(10 進数)	局番設定範囲外。局番が 1～120 以外に設定されています。	設定を見直した後、再度 FB を実行してください。

使用ラベル

●入カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	ON, OFF	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
ユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照してください。	CC-Link IE フィールドネットワーク ワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスを 16 進数で指定します。(例えば X10 の場合、H10 を入力してください)
局番	i_Station_No	ワード	1~120	対象局の局番を指定します。
エラークリア要求	i_ErrorReset	ビット	ON, OFF	エラークリアを行う場合に ON します。 正常終了 (FB_OK) が ON したら、要求を OFF してください。

●出カラベル

名称(コメント)	ラベル名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:実行命令 ON 中 OFF:実行命令 OFF
正常終了	FB_OK	ビット	OFF	ON の場合、エラークリアが完了したことを示します。
ユニットエラー検出	o_UNIT_ERROR	ビット	OFF	ON の場合、エラーが発生していることを示します。
ユニットエラーコード	o_UNIT_ERR_CODE	ワード	0	ユニット内で発生したエラーコードを返します。
ユニットワーニング検出	o_UNIT_WARNING	ビット	OFF	ON の場合、ワーニングが発生していることを示します。
ユニットワーニングコード	o_UNIT_WAR_CODE	ワード	0	ユニット内で発生したワーニングコードを返します。
エラー終了	FB_ERROR	ビット	OFF	ON の場合、FB 内でエラーが発生したことを示します。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生した異常コードを返します。

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2013/10/25	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項, 組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては, 必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

付録1. 2枚以上のマスタ・ローカルユニットでFBを使用する場合

CC-Link IE フィールドマスタ・ローカルユニットを2枚以上使用し、2枚目以降の CC-Link IE フィールドマスタ・ローカルユニットで FB を使用する場合、以下の手順にて MELSOFT Library の CC-Link IE フィールドマスタ・ローカルユニット用 FB から2枚目以降用の FB を作成する必要があります。

2枚目以降用の FB の作成には4つの作業が必要です。

- (1) ネットワークパラメータの入力
- (2) グローバルラベルの設定
- (3) 2枚目用 FB を作成するための MELSOFT Library のコピー
- (4) 2枚目用 FB を作成するためのデバイス置換

付録1. 1. ネットワークパラメータの入力

(1)2 枚目用のネットワークパラメータを入力してください。

項目	内容
ネットワーク種別	「CC IE Field(マスタ局)」を選択します。
先頭 I/O No.	マスタ・ローカルユニットの先頭入出力番号を、16 点単位で設定します。 「0020」を設定します。
ネットワーク No.	マスタ・ローカルユニットのネットワーク No.を設定します。 「2」を設定します。

※ チェックマークを入れてください。



☒ ネットワーク構成設定を CC IE Field 構成ウィンドウで設定する

	ユニット1	ユニット2
ネットワーク種別	CC IE Field(マスタ局)	CC IE Field(マスタ局)
先頭I/O No.	0000	0020
ネットワークNo.	1	2
総(子)局数	1	0
グループNo.		
局番	0	0
モード	オンライン(標準モード)	オンライン(標準モード)
	CC IE Field構成設定	CC IE Field構成設定
	ネットワーク動作設定	ネットワーク動作設定
	リフレッシュパラメータ	リフレッシュパラメータ
	割込み設定	割込み設定
	局番をパラメータで設定	局番をパラメータで設定

(2) 2 枚目の CC IE Field 構成設定を入力してください。

項目	内容
局番	マスタ局に接続するリモートデバイス局の局番を設定します。 「1」を設定します。
局種別	マスタ局に接続するリモートデバイス局の局種別を設定します。 「リモートデバイス局」を設定します。
RX/RV 設定	マスタ局に接続するリモートデバイス局の RX/RV の割付を設定します。 (a)先頭 「0000」を設定します。 (b)最終 「000F」を設定します。
RWw/RWr 設定	マスタ局に接続するリモートデバイス局の RWw/RWr の割付を設定します。 (a)先頭 「0000」を設定します。 (b)最終 「0007」を設定します。

【NZ2GFCM1-16D の場合】

	台数	形名	局番	局種別	RX/RV設定			RWw/RWr設定		
					点数	先頭	最終	点数	先頭	最終
	0	自局	0	マスタ局						
	1	NZ2GFCM1-16D	1	リモートデバイス局	16	0000	000F	8	0000	0007

※ 環境に合わせて、使用するユニットを設定してください。

(3) 2 枚目のリフレッシュパラメータを入力してください。

項目	内容	設定値
SB 転送	SB デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 点数」 : 512 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : SB ・「CPU 側 先頭」 : 0200
SW 転送	SW デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 点数」 : 512 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : SW ・「CPU 側 先頭」 : 0200
転送 1	RX デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 デバイス名」 : RX ・「リンク側 点数」 : 16 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : M ・「CPU 側 先頭」 : 1040
転送 2	RY デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 デバイス名」 : RY ・「リンク側 点数」 : 16 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : M ・「CPU 側 先頭」 : 2064
転送 3	RW _r デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 デバイス名」 : RW _r ・「リンク側 点数」 : 8 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : W ・「CPU 側 先頭」 : 1008
転送 4	RW _w デバイスのリンクリフレッシュ範囲を設定します。	・「リンク側 デバイス名」 : RW _w ・「リンク側 点数」 : 8 ・「リンク側 先頭」 : 0000 ・「CPU 側 デバイス名」 : W ・「CPU 側 先頭」 : 1108

※ リンク側の点数, CPU 側のデバイス名, 先頭は, ご使用になるシステムに応じて変更してください。

割付方法

☒ 点数／先頭

☐ 先頭／最終

	リンク側					CPU側			
	デバイス名	点数	先頭	最終		デバイス名	点数	先頭	最終
SB転送	SB	512	0000	01FF	↔	SB	512	0200	03FF
SW転送	SW	512	0000	01FF	↔	SW	512	0200	03FF
転送1	RX	16	0000	000F	↔	M	16	1040	1055
転送2	RY	16	0000	000F	↔	M	16	2064	2079
転送3	RWr	8	0000	0007	↔	W	8	001008	00100F
転送4	RWw	8	0000	0007	↔	W	8	001108	00110F
転送5					↔				
転送6					↔				
転送7					↔				
転送8					↔				

デフォルト

チェック

設定終了

キャンセル

付録1. 2. グローバルラベルの入力

2 枚目で使用するグローバルラベルを入力します。

1 枚目で使用するラベル名と 2 枚目で使用するラベル名が同一にならないように定義します。

以下では 2 枚目のグローバルラベルの設定を説明します。

(1)M_F_RWr2 リモートレジスタ(RWr)の設定を行います。

項目	内容
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
ラベル名	「M_F_RWr2」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭に「Z7」を付加して入力します。

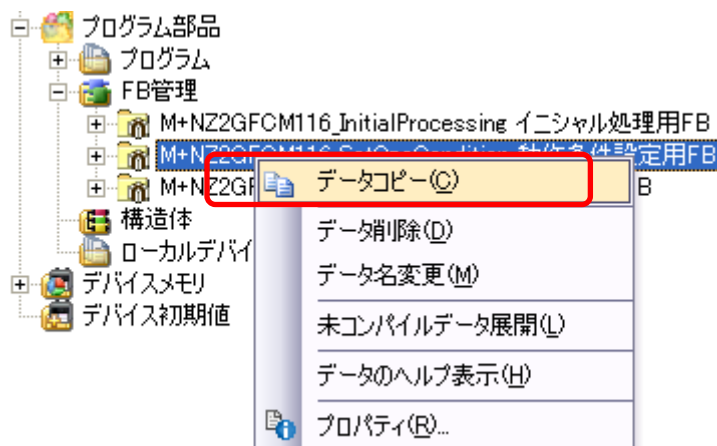
(2)M_F_RWw2 リモートレジスタ(RWw)の設定を行います。

項目	内容
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
ラベル名	「M_F_RWw2」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
デバイス	リフレッシュパラメータに設定したリフレッシュデバイスの先頭に「Z6」を付加して入力します。

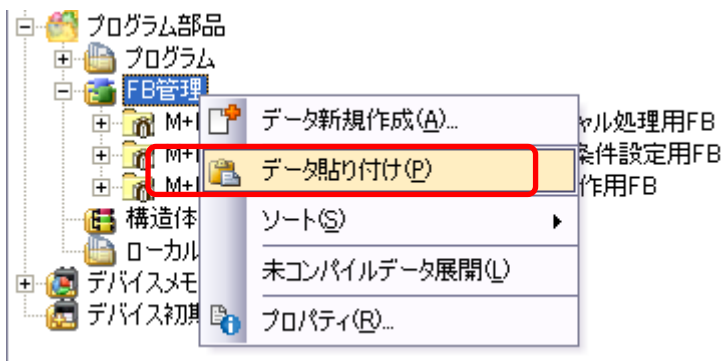
	クラス	ラベル名	データ型	定数値	デバイス	コメント
1	VAR_GLOBAL	M_F_RWr	ワード[符号付き]	...	W1 000Z7	RWrリフレッシュデバイス
2	VAR_GLOBAL	M_F_RWw	ワード[符号付き]	...	W1 1 00Z6	RWwリフレッシュデバイス
3	VAR_GLOBAL	M_F_RWr2	ワード[符号付き]	...	W1 008Z7	RWrリフレッシュデバイス
4	VAR_GLOBAL	M_F_RWw2	ワード[符号付き]	...	W1 1 08Z6	RWwリフレッシュデバイス
5				...		
6				...		
7				...		
8				...		
9				...		
10				...		

付録1. 3. 2 枚目用FBを作成するためのMELSOFT Libraryのコピー

(1) ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある, 2 枚目用に必要な FB を選択して, データコピーします。

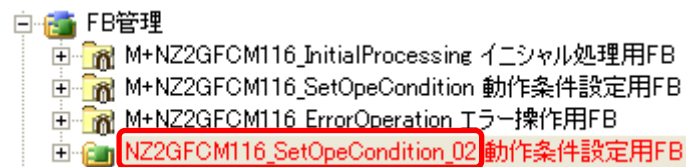
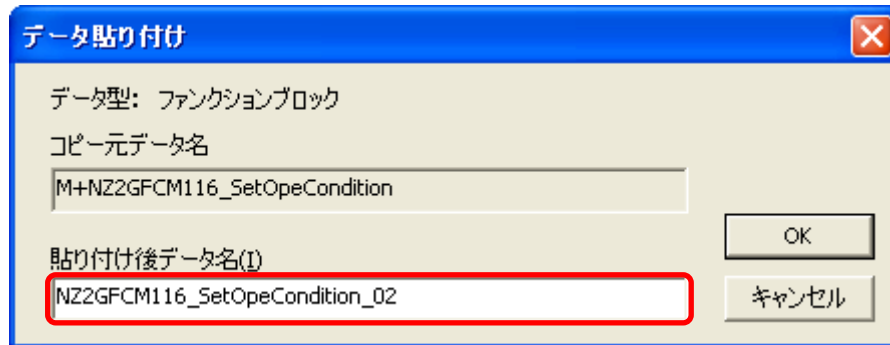


(2) ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある, 「FB 管理」に, 先にコピーした FB をデータ貼り付けます。



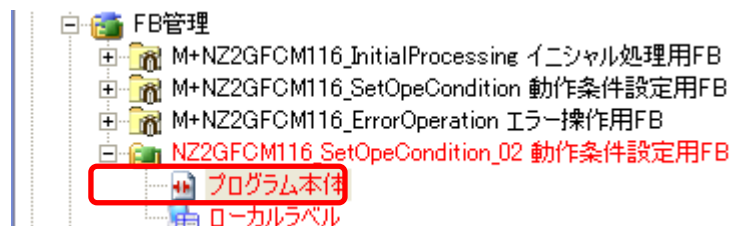
- (3) データ貼り付けを選択すると、貼り付け後の FB 名称を入力する画面が表示されるので、貼り付け後の FB 名称を入力します。(例: NZ2GFCM116_SetOpeCondition_02)

【注意】 M+. . . の "+" という文字列は入力することはできません。

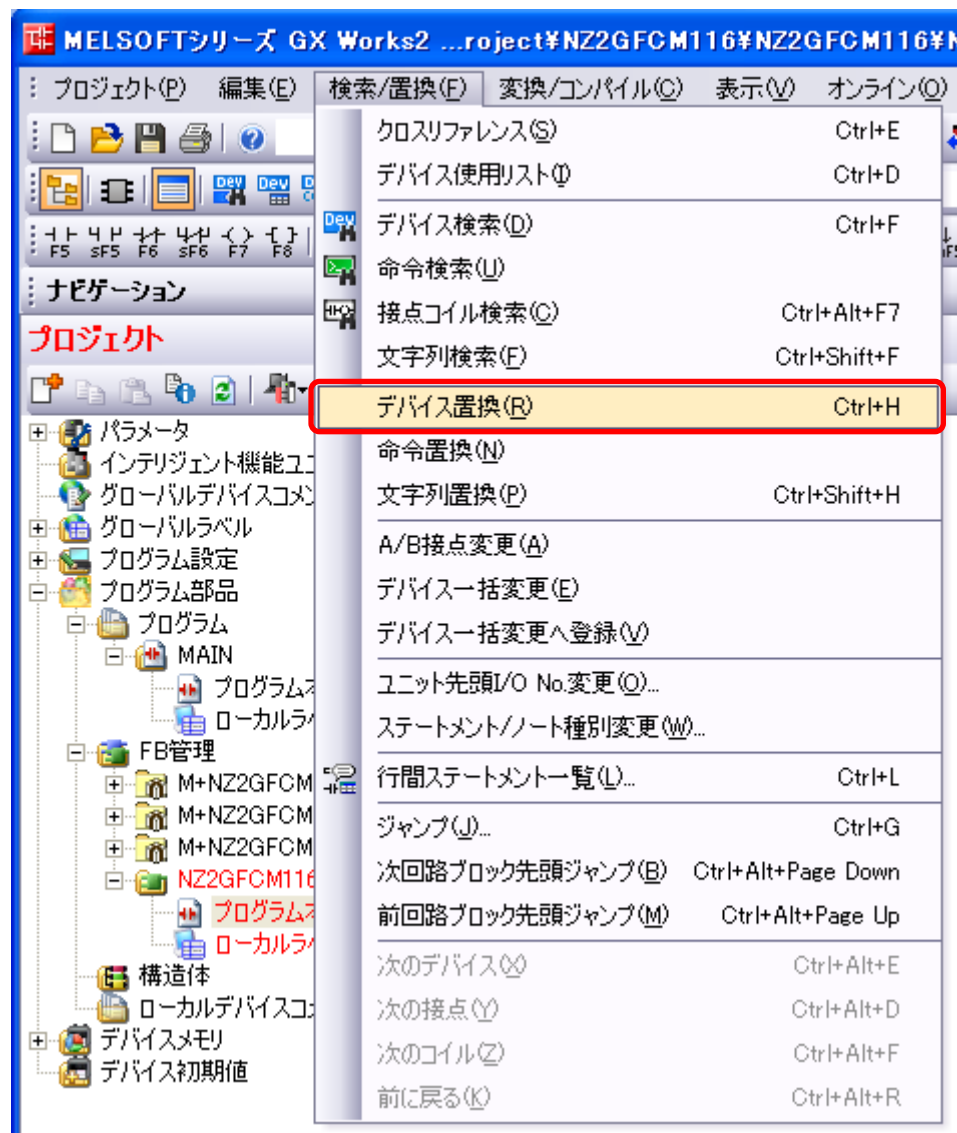


付録1. 4. 2 枚目用FBを作成するためのデバイス置換

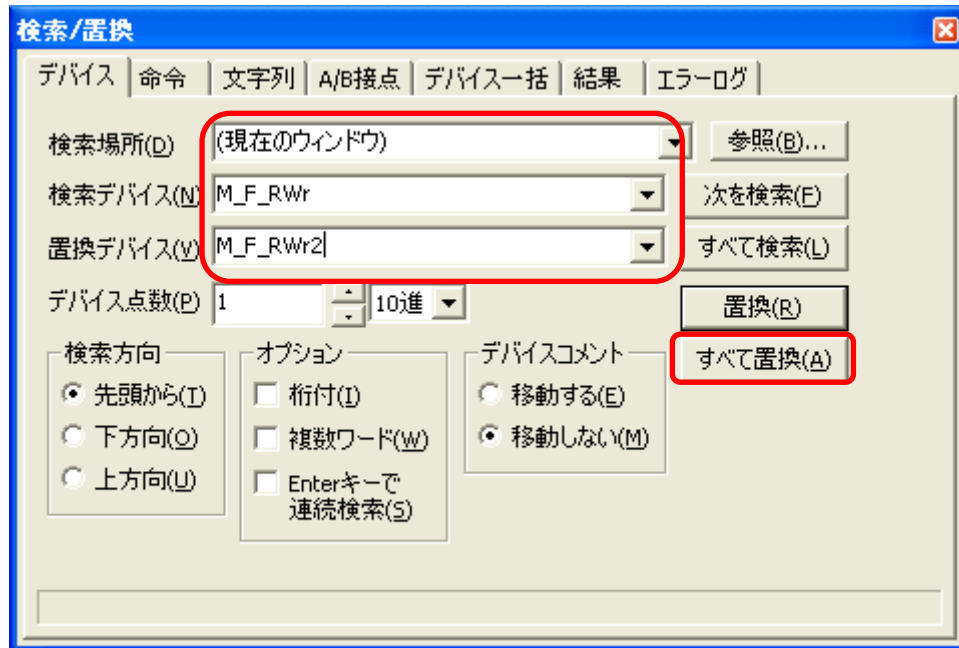
(1) 追加したFBの「プログラム本体」を開きます。



(2) メニューの「検索/置換(F)」を選択, 「デバイス置換(R)」を選択し, 「検索/置換」画面を表示します。



- (3) 検索場所を「(現在のウィンドウ)」, 検索デバイスを「M_F_RWr」, 置換デバイスを「M_F_RWr2」に指定し, デバイス一括置換します。また, 「M_F_RWw」も同様の置換を行ってください。



以上で 2 枚目の CC-Link IE フィールドマスタ・ローカル用 FB の使用が可能となります。

【ポイント】

- (1) 2 枚目の CC-Link IE フィールドマスタ・ローカルユニットで使用する FB が複数ある場合には項「付録 1. 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する場合」の手順を繰り返してください。
- (2) 3 枚以上の CC-Link IE フィールドマスタ・ローカルユニットで FB を使用する場合には, 設定する「グローバルラベル名」・FB のデータ貼り付けする際の「貼り付け後データ名」, デバイスを置換する際の「置換デバイス」を 1 枚目, 2 枚目と重複しないよう設定してください。

【注意事項】

MELSOFT Library のバージョンアップがあった時, MELSOFT Library の FB は再度, インポートを行うことでバージョンアップを行うことが出来ますが, 今回の手順で作成した 2 枚目以降用 FB は再度インポートを行っても, バージョンアップを行うことが出来ません。

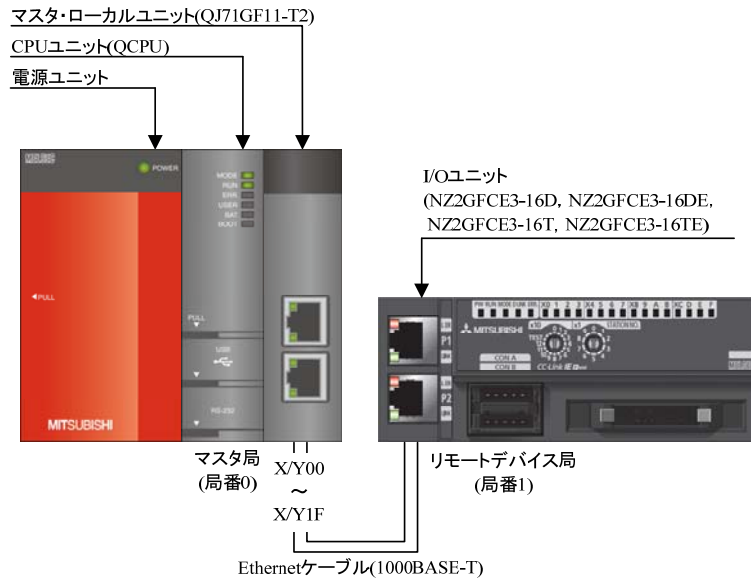
そのため, 今回の手順で作成した FB をバージョンアップする場合には, MELSOFT Library のバージョンアップ後, 再度, この作業を行うことで, バージョンアップを行います。

付録2. FBライブラリ使用例

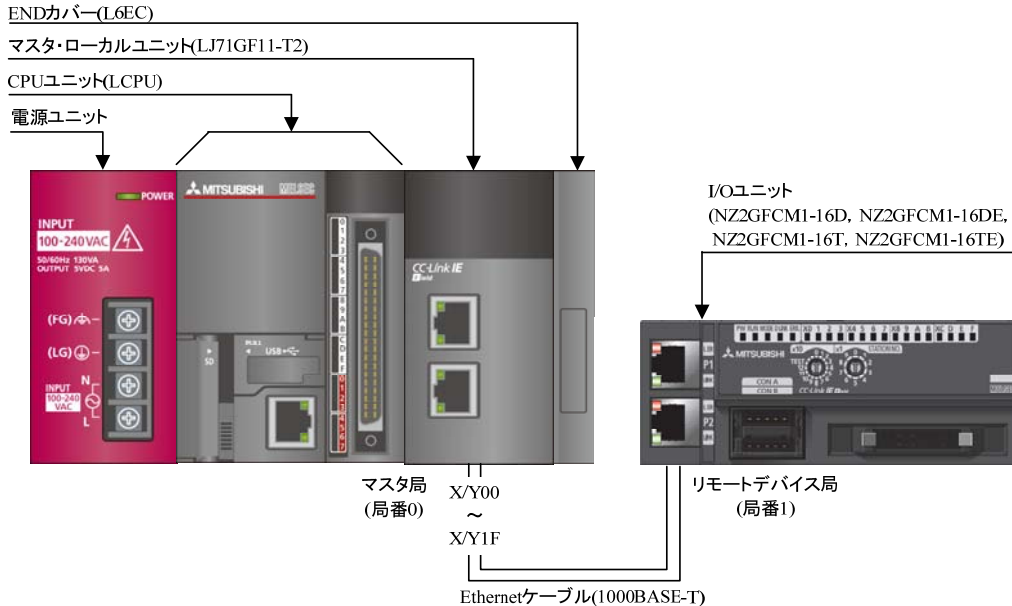
CC-Link IE フィールドネットワーク リモート I/O ユニット用 FB の使用例を以下に示します。

1)システム構成

(1)Q シリーズのシステム構成



(2)L シリーズのシステム構成

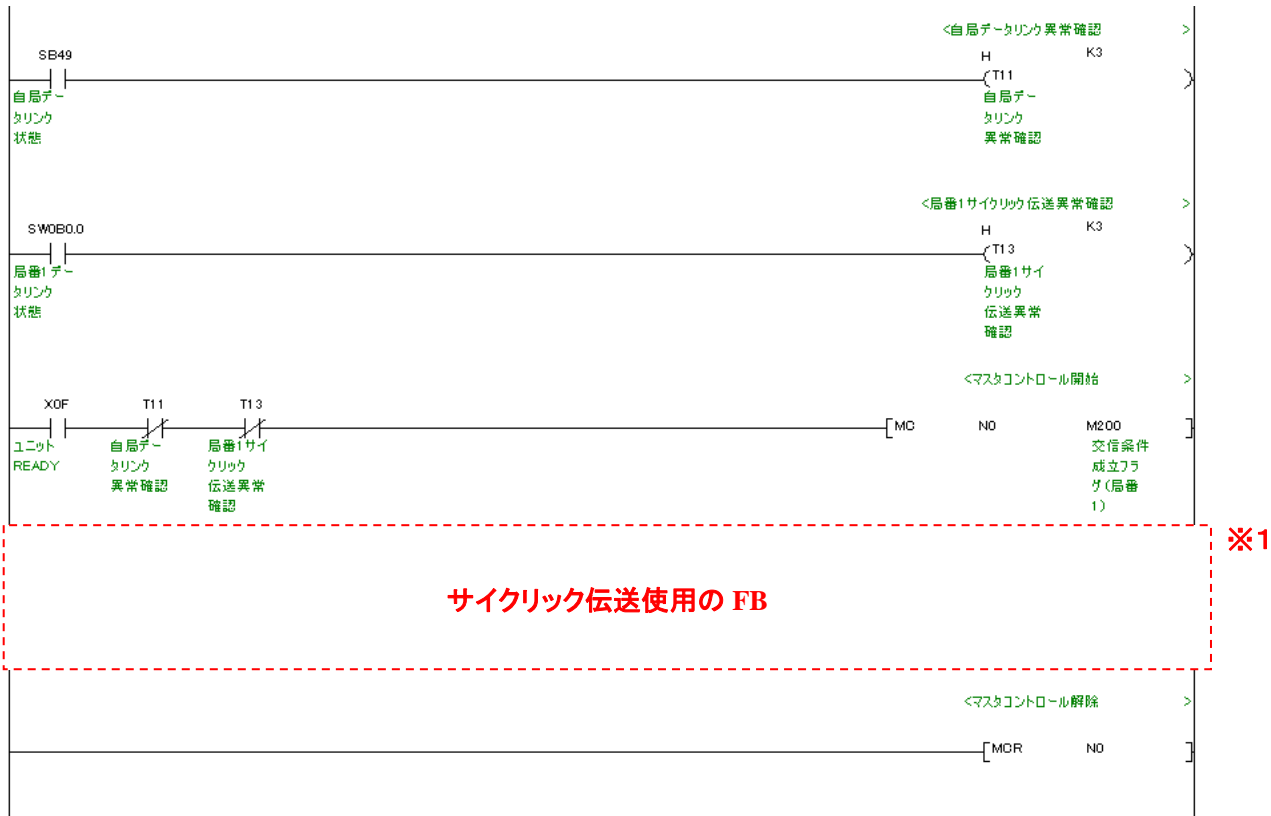


注意点

- ・全ての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。
設定しない場合、不定値となります。
- ・ラベルコメントは、GX Works2 の表示可能文字数の関係により
省略形で記載していることがあります。

インタロックプログラム

※インタロックプログラムを記載します。



※1 本書に掲載されている全ての FB はサイクリック伝送を使用しています。

2) デバイス使用一覧

a) 外部入力 (指令)

デバイス	FB 名称	用途 (ON 時の内容)
M0	M+NZ2GFCM116_InitialProcessing	イニシャル処理要求
M10	M+NZ2GFCM116_SetOpeCondition	動作条件設定要求
M20	M+NZ2GFCM116_ErrorOperation	エラー操作要求
M21		エラークリア要求

b) 外部出力 (確認)

デバイス	FB 名称	用途 (ON 時の内容)
M1	M+NZ2GFCM116_InitialProcessing	イニシャル処理 FB 準備完了
M2		イニシャル処理 FB 正常終了
F0		イニシャル処理 FB エラー終了
D0		イニシャル処理 FB エラーコード
M11	M+NZ2GFCM116_SetOpeCondition	動作条件設定 FB 準備完了
M12		動作条件設定 FB 正常終了
F5		動作条件設定 FB エラー終了
D10		動作条件設定 FB エラーコード
M22	M+NZ2GFCM116_ErrorOperation	エラー操作 FB 準備完了
M23		エラー操作 FB 正常終了
M24		ユニットエラー検出
D20		ユニットエラーコード
M25		ユニットワーニング検出
D21		ユニットワーニングコード
F10		エラー操作 FB エラー終了
D22		エラー操作 FB エラーコード

3) グローバルラベル設定

a) 共通設定

クラス	ラベル名	データ型	デバイス
VAR_GLOBAL	M_F_RWr	ワード[符号付き]	W1000Z7
VAR_GLOBAL	M_F_RWw	ワード[符号付き]	W1100Z6

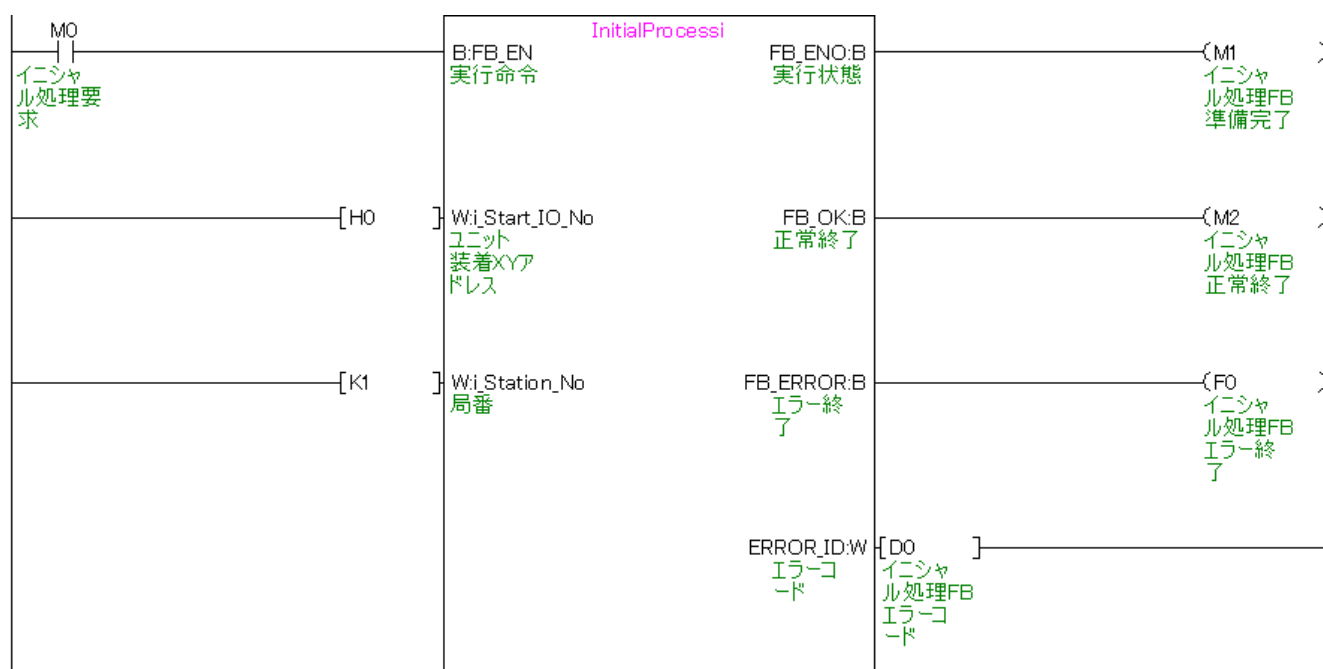
4) プログラム

M+NZ2GFCM116_InitialProcessing(イニシャル処理)

次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
i_Start_IO_No	H0	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスの 0H を指定します。
i_Station_No	K1	対象局番に局番 1 を指定します。

M0 を ON にすると、イニシャル処理を実行します。

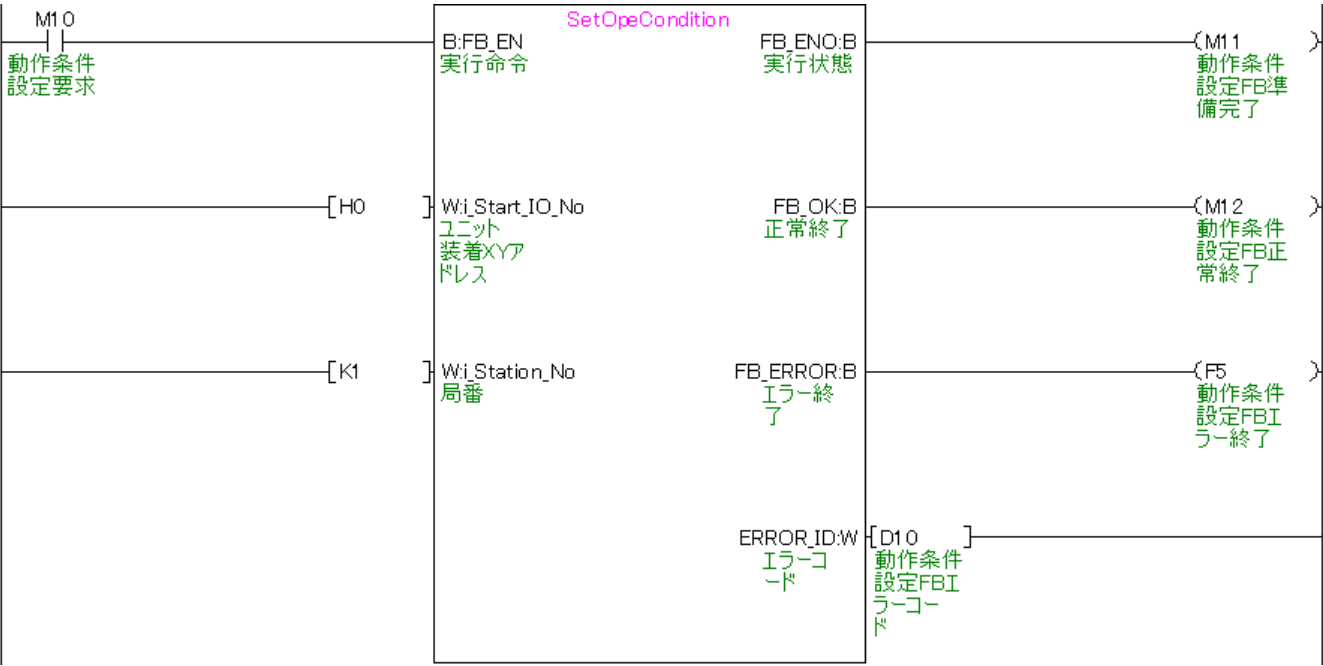


M+NZ2GFCM116_SetOpeCondition(動作条件設定)

次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
i_Start_IO_No	H0	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスの 0H を指定します。
i_Station_No	K1	対象局番に局番 1 を指定します。

M10 を ON にすると、ユニットの動作条件を設定します。



M+NZ2GFCM116_ErrorOperation(エラー操作)

次の条件のプログラム例を下記に示します。

ラベル名	設定値	内容
i_Start_IO_No	H0	CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスの 0H を指定します。
i_Station_No	K1	対象局番に局番 1 を指定します。
i_ErrorReset	ON/OFF	エラークリアを行う場合に ON します。

M20 を ON にすると、エラー、および、ワーニングの発生を監視します。

M20 の ON 後に、M21 を ON することでエラークリアが行われます。

